

図書館だより

5月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

○印 休館日 月曜日・祝日(4日・5日)  
祝日振替(6日)  
月末館内整理日(28日)

今月の新刊図書案内

一般図書

日本における書籍蒐蔵の歴史 川瀬一馬  
コンピュータ2000年問題は 竹村健一  
本当に危ない! 今井雅晴  
アメリカ合衆国とは何か 高村宏子  
フィレンツェ 上・下 クリストファー・ヒバート

日本山名総覧 武内正  
鬼平・長谷川平蔵の生涯 重松一義

ソウルの日本大使館から 町田貢  
「経済政策」はこれでよいか 伊東光晴

拓銀はなぜ消滅したか 北海道新聞社  
河上亮一

学校崩壊 親子のための星空観察 天笠啓祐  
遺伝子組み換え動物 大塚博邦

花粉症 子どもの生活習慣病 大國真彦  
子どもを取り巻く環境ホルモン 食べもの文化編集部

土日でマスターインターネット 村上晶  
メール早わかりガイド 球根草花で彩るフラワーガーデン

男のためのそば打ち入門 奥峰子  
絵手紙の極意 小池邦夫

よしもと一笑懸命 橋本昌人  
強くて淋しい男たち 永沢光雄

スチュワードが教える 個人旅行の英会話 秋野礼子  
エッセイの書き方 日本エッセイスト・クラブ

西行のすべて 佐藤和彦  
源氏物語五十四帖を歩く 保坂和志

「私」という演算 関口安義  
「羅生門」を読む 福島章

家族が壊れるとき 内館牧子  
週末婚 奥田英朗

最悪 清水義範  
上野介の忠臣蔵 東海林さだお

ビールうぐうぐ対談 ある中国人密航者の犯罪 銭 黄山

巡礼者たち エリザベス・ギルバート 外一八八冊

児童図書 吉村作治の古代エジプト 不思議物語

あなたももし奴隷だったら 鳥たちが教える琵琶湖の未来 エネルギーをどうする

はじめよう総合学習 1-8 雑貨屋さんへようこそ

つくってあそぼう人形劇 ぼくのそり犬ブエノ おひなさまSOS

ヒロシマ語り部の歌 古城の幽霊ポガート 海からのメッセージ

つきよのおんがくかい ともだちくるかな ドアがあいて... おはなのすきなおおかみくん 外八七冊

市立図書館 今の一冊

『おまけとふろく大図鑑』 平凡社

大正時代から子どもたちに愛され続けているグリコのおまけをはじめ、仮面ライダーカード、ペコちゃん、企業マスコット、雑誌付録など、昭和のおまけと付録を紹介する図鑑。

『ベッドのしたにはなにがある?』

マイク・マニング  
ブライタ・グランストローム 作  
評論社

ベッドのしたには、なにがある?いろいろなもの、それからネズミの巣...身近なことから、ユーモラスな科学絵本。

心の健康シリーズ(73) 越えなければならぬ 五つの発達課題(2)



先月号に続き少年期、青年期について書きました。参考にしてください。

④少年期(十一才〜十五才) 自発性の育成

児童期に数多くの体験をすると少年期に入るところから自分が特に興味を引かれるものが見えてきます。そして、やがてそれを夢中になって追い求めるようになります。その内容は人それぞれ異なり、ミニカー、ファミコン、読書、星座、スポーツなど様々です。

成人した後に美術、芸術、学問研究、スポーツなどの分野で大きな業績を残した人の中には、このころの経験や興味の追及が役立っている人も少なくないようです。

この自発的に出てきたものは、親や教師の目で取捨選択せず、できるだけ伸ばしてやることを第一に考えてやりたいものです。

このように自発性は大切なものでありますが、彼らの興味の対象となるものは種々雑多で必ずしも親や教師の希望するような教科の成績をアップさせるものとは限りません。そのため受験の妨げになるという配慮から、その芽をつぶしがちです。

⑤青年期(十六才〜十八才) 自我の確立

青年期は子どもが大人になる準備期間です。

この期間は、それまでの親への依存心を精算して、自分の生き方について自分で責任を持って考え

ていこうとするときです。

青年期になると自己意識が発達し、今までまわりからいわれていた自分でなく、本当の自分に気づくようになります。

中学生や高校生が自分の容姿や性格に悩んだり、噂話などに病むのは、このためです。

「他人からの自己像」と「自分の自己像」のギャップが少ないほど安心できるのです。

この自我の確立が、この時期しつかりできないまま社会人となつた人は依存性が強く、会社などに勤めても責任感が薄く、意欲に欠け、人間関係に悩んだり、精神の不調を訴えたりして、円滑な社会生活ができなくなります。

人間の健全な発達には、五つの発達課題を十分達成したときに実現するのです。

このように成長の順次性にしたがって着実に成長させることが必要で、どの一つも軽視することはできないのです。

※参考文献  
筑波大学名誉教授 鈴木博雄 著  
『子供の心と思考の育て方』

子どもの悩みとは  
教育相談室へ  
(八朔屋台展示庫前)

月〜金 午前8時30分〜  
午後4時30分  
☎(43) 1323